

## 温かな教育とは・・・

叱らないこと？ 少々のことにも目をつぶること？

酒田まつりへのさまざまな協力、指導、ありがとうございました。昨年までの参加スタンスと変わり、先生方には戸惑いもあったかと思います。しかし、遠藤敬先生がマイスターレポートNo.28で書いているとおりで、せっかく参加するのですから、浜田小でなければ味わえない活動にしていきたいと考えていました。急遽でだいぶ負担をかけてしまったかも知れませんが、6年生の子どもたちが素敵な大うちわを作って祭りを先導してくれました。おそらく他の学年の子どもたちも、自分たちのめあてや思いを持って参加してくれたのではないかと思います。来年度は、教育的な付加価値をさらに積み重ね、パワーアップした浜田小の「酒田まつり」にしていきたいものです。



### 打ち上げ花火的教育活動

大切なのは、実はこれからだと思えます。酒田まつりが終わったから浜田小にとっての酒田まつりが終わるわけではありません。もし20日で終わってしまうようであれば、まさしく「打ち上げ花火」です。むしろ、これから始まると言った方がいいと思えます。

**④じをすてて 何でもチャレンジ**

**④いにち 笑顔で あいさつ**

**④れでも 仲良し 浜田っ子**

子どもたちは、浜田小の祭りの魂である「御輿」に、児童会目標の願いを込めてくれました。そういう学校にしたい、そういう子どもになって浜田小学校を盛り上げたいという願いです。6年生だけでなく、1年生まで全校児童の願いと言っていいと思えます。祭りの中で酒田市民に誓ったと言っていいと思えます。これからもこれらの目標や大うちわに書いた願いを実現するよう子どもたちになるようけしかけて（指導して）いただきたいと思えます。

### 温かな教育とは、冷たい教育ではないということ

それにしても学校が落ち着きません。避難訓練の時も、酒田まつりの出発式の時も大きな声を出してしまいました。本来は私がそんな役をする人ではないと思えます。もし校長が年度初めに言った「温かな教育を！」とか「体罰はいけません」ということを気にして指導を躊躇していたとしたら、真意が伝わらず申し訳なく思えます。

生徒指導や生活を指導するときの大事なところ（勤どころ）は、

気持ちよさ 心地よさ 居心地のよさ

だと思えます。ですから、

- ◆ だらだらしている
- ◆ けじめがない
- ◆ ぐちゃぐちゃしている
- ◆ ルールが守られず乱れている
- ◆ 騒々しい
- ◆ どうでもよい
- ◆ ……



という状態は生徒指導上非常にまずいと言えます。そういう乱れた状態では、学習にも大きな支障をきたします。よく「学習と生活は表裏一体」と言います。良好な学習活動には、安定した生活が必要です（生活が安定しているだけでは、良好な学習は成立しない）。上のような状態であれば、声を荒げてでも、鬼の形相になっても、絶対に許してはいけません。子どもに負けてはいられません。ここは勝負どころです。この勝負どころで逃げたり負けたりするような教育では、私は子どもを見放した「冷たい教育」と言わざるを得ません。このまま成長していったらろくな大人になれないわけですので、なんとしてでも気持ちよさを味わわせたいと熱く思う、そして指導する教師の方が「温かな教師」だと思えます。乱れた状態で生活を強いられる方が、子どもたちにとってよっぽど不幸だと思います。もちろん「不適切な言動」は体罰ですから厳に慎まなければなりません。先生方も今の浜田小の状態が良いとは思っていないことでしょう。何とか熱い思いを持って、同じ方向で指導にあたり、一日でも早く安定した生活、落ち着いた雰囲気のできる生活できるようにしてください。

## たとえば、“廊下を静かに歩きます”

さっそく児童会では「廊下歩行すごろく」なるものを作ってくれました。うまくいくかどうかはわかりませんが、行動を起こすことに大きな価値があります。「人生の99%は失敗だ」と言った人がいましたが、失敗から学ぶことが多いのが人生です。小さなことからでいいと思います。

- ◆ 廊下を歩いている子どもを見たら（実は当たり前のこと）、うんとほめるのです（よさに注目する）。
- ◆ 靴をそろえている子どもがいたら（これも当たり前にしたい）、感動的にほめるのです。
- ◆ 会釈をしてくれた子どもがいたら、最高に喜んでうれしさを伝えるんです。
- ◇（いつものトーンで）「えらいね」とか、「先生もうれしいな」では伝わりません。カンヌ映画祭で主演俳優賞をとるつもりで（つもりだけで十分）、満面の笑みで子どもたちのハートに訴えてください。絶対に伝わります。

**先生がそう変われば、子どもは変わります。**